職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 仪	長名	_		所在地			
専門学校大	育	平成5年3月1	日 石川	正一	(住所))02-0066 中縄県那覇市大道88-	5			
設置者名		設立認可年月	代	表者名	(電話)(98-885-5330	所在地			
学校法人石川:	学園	平成2年2月28	3日 石川	正剛		002-0066 中縄県那覇市大道88-	5			
分野	認	定課程名	認定学科	名)98-885-5330]士認定年度	高度専門士認定	年度 贈	能業実践真	門課程認定年度
医療		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	歯科衛生士		1	19(2007)年度		112		9(2017)年度
学科の目的	就職に必要なる。	な実践的かつ専門的な	な能力を養成することを	₹目的として、図	医療分野にお	ける実務に関する知識、	技術及び技能につい	て組織的な教	で育を行って	いくことを目的とす
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	歯科衛生士									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要 単位 単位	な総授業時数又は総立数	講	義	演習	実習	実験		実技
3		(単位時間、単位いずれ	2,835 単位時間	1,155	j 単位時間	30 単位時間	1,590 単位時間	45 単位	位時間	15 単位時間
年	<u> </u>	に記入	単位		単位	単位	単位	単位	位	単位
生徒総定員	生徒実	員(A) 留学生	数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率				
160 人	62 시		2 人	C) %	16 %				
	■卒業者数 ■就職希望		20 20		人					
	■就職者数	(E) :	16		人					
	■地元就職 ■就職率(E		12 80		人 %					
		=/ D) 占める地元就職者の	割合(F/E)							
	■広業老に	占める就職者の割合	75 (F/C)		%					
			80		%					
就職等の状況	■進学者数 ■その他	Ι	0		人					
	(令和	6 年度卒業者	に関する令和7年5月	1日時点の情	報)					
	■主な就職				17-7					
	(令和6年度卒									
		目去床院								
	歯科医院・塡	卡								
			才 証価·			1111				
第三者による	■民間の評	ポロ病院 価機関等から第三: 例えば以下について任				無				
第三者による 学校評価	■民間の評 ※有の場合、	価機関等から第三 例えば以下について任		亚安仁口,			価結果を掲載した			
	■民間の評 ※有の場合、	価機関等から第三		受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL			
学校評価 当該学科の	■民間の評 ※有の場合、 評	価機関等から第三: 例えば以下について任: 価団体:	意記載 	受審年月:		評				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評	価機関等から第三 例えば以下について任	意記載 	受審年月:		評				
学校評価 当該学科の	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental	意記載 	受審年月:		評				
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三額 例えば以下について任 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental	意記載 	受審年月:		評		2 825 畄	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三額 例えば以下について任意 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数	意記載 			評		2,835 単		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三額 例えば以下について任意 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	意記載 /	習・実技の授		評		900 単	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三額 例えば以下について任意 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	意記載 / を連携した実験・実習を連携した演習の授業	習・実技の授		評		900 単	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修授	意記載 / と連携した実験・実置 と連携した演習の授業 登業時数	習・実技の授業	業時数	評		900 単· 0 単· 2,835 単·	位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち必修授	意記載 / と連携した実験・実習を連携した演習の授業 ※美時数 うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験	業時数・実習・実技	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単·	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業 登業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の評 ※有の場合、 評 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	意記載 / と連携した実験・実習を連携した演習の授業 と業時数 うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://www	価機関等から第三 例えば以下について任 価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修授	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業 登業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (価団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業 登業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (価団体: w.daiiku.ac.jp/dental を	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業 を業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の ニンシップの	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (価団体: w.daiiku.ac.jp/dental を うち企業等 うち企業等 うち必修 を できる 第二章 では できる かい いい いい いい いい できる かい いい	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業 ・ を業時数 ・ うち企業等と連携した ・ を発表したインター ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の ーンシップの 習・実技の単位	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (価団体: w.daiiku.ac.jp/dental を うち企業等 うち企業等 うち必修 を できる 第二章 では できる かい いい いい いい いい できる かい いい	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業 を業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の ーンシップの 習・実技の単位	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (価団体: w.daiiku.ac.jp/dental を うち企業等 うち企業等 うち必修 を できる 第二章 では できる かい いい いい いい いい できる かい いい	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した。 まと連携した実験・実施等と連携した。	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験 こ必修の演習の ーンシップの 習・実技の単位	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	評		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単· 0 単·	位時間 位時間 位時間 位時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 側えば以下について任語 (本) の	意記載 / と連携した実験・実施を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した。 まと連携した実験・実施等と連携した。	習・実技の授業時数 こめ修の実験 こめ修の演習の プロジャンシップの 対象 対象	業時数・実技 の授業時数 受業時数)	の授業時数		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単· 単·	位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (本) の	意記載	習・実技の授業時数 こめ修の実験 こめ修のプロジャンシップの対象 対象 こめ による といき できる こう	業時数・実技の授業時数を受業時数を受業を対しています。	の授業時数		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単· 単· 単·	位時間位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携し と実施し と と と と と と と と と は と は と は と は と り と り	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (本) の	意記載 / と連携した演習の授業 を連携した演習の授業 うち企業等と連携した を連携した実験・実験・実験・実験・実験・実験・実験・実験・実験・実験・実験・実験が変	習・実技の授業時数 こめ修の 演習の 選・実技の単位 立数 この 後の 演習の にの 実技の単位 この 実技の単位 この 実験 この 後の 演習の にの	業時数・実技 の授業時数) 位数・実習・実技の単位数	の授業時数		900 単· 0 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単· 単 単 単 単 単	位時間は一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームURL と連携し と実施 と実施 と実施れか	■民間の評 ※有の場合、 https://www (A:単位日 総 の場合、 が が には、 の場合、 が には、 の場合、 が には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (本) の	意記載	習・実技の授業時数 こめ修の 演習の 選・実技の単位 立数 この 後の 演習の にの 実技の単位 この 実技の単位 この 実験 この 後の 演習の にの	業時数・実技 の授業時数) 位数・実習・実技の単位数	の授業時数		900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単	位時間は一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のよ と連携していた。 と実施れか	■民間の評 ※有の場合 : https://www (A:単位 B: 単位 経 経 経 経 に は に は に は に は に は に に に に に に に に に に に に に	価機関等から第三語	意記載 / と連携した演習の授養を連携した演習の受養を連携した演習の登録した。 を連携した演習の登録した。 を連携した演習の単位を連携した演習の単位である。 を連携したは変更になった。 を連携したは変更になった。 を連携した。 をを連携した。 ををを連携した。 ををを連携した。 をををを連携した。 をををを連携した。 ををを連携した。 をををを述述をを述述を をををを述述を ををを述述を ををを述述を をを述述を を述述を を述述を をを述述を を述述を を述述を	習・実技の授業	業時数・実技 の授業時数) 位数・実習・実技の単位数	の授業時数		900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単	位時間は一位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■民間の評 ※有の場合 :評 https://www (A:単位 単位 単位 経 が が が が が が が が が が が が が	価機関等から第三語 例えば以下について任語 例えば以下について任語 (個団体: w.daiiku.ac.jp/dental 時間による算定) を受ける (うちを必要) では、 (うちをとなどのできない。 (うちをとなどのできない。 (うちをとなどのできない。 (うちをとなどのできない。 (うちをとない。 (うちをとない。) (うない。) (う	意記載 / と連携した演習の受験・実験・変換・実験・変換・変換・変換を連携した演習のが変換を連携した。 ままま は は な まま は は な まま は は な まま は は な な まま まま は な な まま まま	習・実技の授業 等・ で	業時数・実技の授業時数) 位数・実位数 単位数)	の授業時数	ームページURL	900 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単· 単· 単· 単· 単· 単·	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のよ と連携していた。 と実施れか	■R間の合 ※有の場合 A: https://www. (A: 単位 が が が が が が が が が が が が が	価機関等から第三年 ・	意記載 / と連携した演習の授養を連携した演習の受養を連携した演習の登録した。 を連携した演習の登録した。 を連携した演習の単位を連携した演習の単位である。 を連携したは変更になった。 を連携したは変更になった。 を連携した。 をを連携した。 ををを連携した。 ををを連携した。 をををを連携した。 をををを連携した。 ををを連携した。 をををを述述をを述述を をををを述述を ををを述述を ををを述述を をを述述を を述述を を述述を をを述述を を述述を を述述を	習・実技の授業 学	業時数・実技の授業時数・実力・関連を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	の授業時数	ームページURL	900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のと連携した況か	■R間の合 ※有の場合 A: https://www. (A: 単位 が が が が が が が が が が が が が	価機関等から第三語 (Market Market Ma	意記載 / と連携した演習の	習・実技の授業 学	業時数・実技の授業時数・実力・関連を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	の授業時数	ームページURL	900 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単· 単· 単· 単· 単· 単·	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科の ホームペー URL 業等のよし と連携して して と と と と して と と して して と して して して して と して して して して して して して して して して して して して	■ R R の	価機関等から第三年 ・	意記載 「と連携した実際である。と連携した実際である。と連携した実際である。と連携した実際である。と連携した実際である。とを連携した実際である。とを連携した実際である。とを連携したでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	習・実技の授業 学	業時数・実技の受業・実数・実数・実数・変数・実数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数	の授業時数	ームページURL 	900 単· 2,835 単· 900 単· 0 単· 0 単· 単· 単· 単· 単· 単·	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■ R間の合	価機関等について任語 (個別など) (のの数と) (の	意記載 「とと、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで	習・実技の授業 学	業時数・実養 ではません ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた ではまた	の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第	ームページURL (新1号)	900 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単 1 1 人	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムURL 当市 URL 学等、URL とのBに記しとのBに記していて 連実い) には状れ でする。 はでいて を変していて を変していて を変していて のに でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。	■ R R の	価機関等からいで任語 (個人では) (個人で) (個人	意記載 「とと、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	習・実技の授業 学	 業時 ・ 実 授 業 ・ 支 受 数 ・ 支 受 数 ・ 支 受 数 ・ 支 を で す り 単位 ・ す の 単位 	の授業時数の受置基準第41条第1項第交設置基準第41条第1項第	ームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	900 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単 1 1 人 0 人	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの 当市 URL 業等、URL とのB記入 とのB記入 し状れ ・ 専任	■ R R の	価機関等では でででででは、 ででででででででできる。 でででででででできる。 ででででででででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	意記載 「とと、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	習・実技の授業 学	業時・ 実 授 業・ 大 の 受・ 支 数・ ま 単 位・ 数・ す 数・ す 数・ す ず を・ す ず を・ す ず で・ す で・	の授業時数 の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	ームページURL 1号) 1号) 1号) 1号) 1号)	900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 1 1 人 0 人	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの 当市 URL 当該ム URL 学等、CE とのBに 連実い) には状れ のに ででででである。 でででである。 では、このに ででである。 では、このに でででである。 では、このに ででできる。 では、このに ででできる。 では、このに できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	■ R R の	価機関以下について任語 (個別の) (個別	意記載 「とと、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	習・実技の授業 学	業時・ 実 授 業・ 大 の 受・ 支 数・ ま 単 位・ 数・ す 数・ す 数・ す ず を・ す ず を・ す ず で・ す で・	の授業時数の受置基準第41条第1項第交設置基準第41条第1項第	ームページURL 1号) 1号) 1号) 1号) 1号)	900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 4 1 0 人 0 人	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの 当市 URL 当該ム URL 学等、CE とのBに 連実い) には状れ のに ででででである。 でででである。 では、このに ででである。 では、このに でででである。 では、このに ででできる。 では、このに ででできる。 では、このに できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	■ R R の	価機関等では でででででは、 ででででででででできる。 でででででででできる。 ででででででででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	意記載 「とと、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	習・実技の授業 学	業時・ 実 授 業・ 大 の 受・ 支 数・ ま 単 位・ 数・ す 数・ す 数・ す ず を・ す ず を・ す ず で・ す で・	の授業時数 の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	ームページURL 1号) 1号) 1号) 1号) 1号)	900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 1 1 人 0 人	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの 当市 URL 当該ム URL 学等、CE とのBに 連実い) には状れ のに ででででである。 でででである。 では、このに ででである。 では、このに でででである。 では、このに ででできる。 では、このに ででできる。 では、このに できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	■ R R の	価機関以下について任語 (個別の) (個別	意記載 「とと、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	習・実技の授業 学	業時・ 実 授 業・ 大 の 受・ 支 数・ ま 単 位・ 数・ す 数・ す 数・ す ず を・ す ず を・ す ず で・ す で・	の授業時数 の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	ームページURL 1号) 1号) 1号) 1号) 1号)	900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 4 1 0 人 0 人	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	
学校評価 当該ムの 当市 URL 当該ム URL 学等、CE とのBに 連実い) には状れ のに ででででである。 でででである。 では、このに ででである。 では、このに でででである。 では、このに ででできる。 では、このに ででできる。 では、このに できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	■ R R の	価機関以下について任語 (本)	意記載 をとと、実際である。 をとき、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは	習・実 大 で で で で で で で で で で で で で	 業時 ・ 力受 ・ 力を <l></l>	の授業時数 の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	ームページURL 1号) 1号) 1号) 1号) 1号) 1号)	900 単 0 単 2,835 単 900 単 0 単 0 単 単 単 単 単 4 1 0 人 0 人	位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

歯科衛生士法第十二条の規定による歯科衛生士養成所指定規則に基づく「臨地・臨床実習」科目において、校外実習が 定められており、本科においても歯科医院機関及び高齢者施設において実務に関する知識、技術及び美技能を身につけ ることを目的としている。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

組織運営規定に於いて教育課程編成委員会は、「教育課程の編成にあたっては、企業等の要請を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に務めなければならない。」と定めており、組織図の中でも教育課程編成委員会を位置付けている。その意思決定については、校長が委員を招集し、委員会を実施する課程を経て得られた意見を教育課程の編成に活かすよう工夫し、取り組んでいる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年11月1日現在

		一	
名 前	所 属	任期	種別
山川 修	元 中 市 地 区 密 科 医 帥 会	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	1
新本 博司	元那朝巾在会福祉協議会 会長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	1
玉城 吉夫	医療法人偏不会 埋事長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	3
有銘 博之	有跖会計事務所 公認会計工	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	3
長島 英明		令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	3
西平 守昭	にしひら歯科クリニック	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年 7月19日 16:00~17:00 第2回 令和6年11月22日 16:00~17:00

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

国家試験の結果については、毎回よい結果をおさめている。今年度の国家試験対策についても対策を万全に行ってほしいと要望があった。委員会の要望等を受け、今年度についても引き続き緊張感を持って国家試験対策等の指導を行うような措置をとることとした。教職員については、関係企業との交流を充実させ、研修への参加を積極的に行う。学生についても歯科医院等への校外実習を行い、教職員が定期的に実習先へ訪問、評価回収を行うことで、学生や実習内容の課題について聞き取りを行う。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

医療従事者として、患者とのコミュニケーションや歯科医師との連携など、歯科医療機関及び高齢者施設での歯科衛生士の役割を理解し実践していくことを方針とする。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

歯科衛生士養成所指定規則に基づいた企業実習を900時間(約9ヶ月間)実施している。実習内容については、事前に本校担当者と 実習先との詳細な打ち合わせを行い、到達目標を明確にしている。また実習期間中においては、本校担当者が定期的に巡回し、実習 企業との連携の強化を図っている。実習の成果については、実習生により作業記録を含めた実習日報を作成し、実習先担当者の所 見を記入するとともに、終了時に実習目標に沿った項目にしたがって評価を行っている。

		科目数については代表的な			
科	目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等	
│ │ 臨地·臨床	実習	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	歯科臨床・公衆衛生及び高齢者施設の現場において、円滑に業務を 行うことを目的とする(企業実習)	歯科医療機関・高齢者施設・障が い者施設等	
					-
					1
3.「企業等と	≐連携して、ネ	教員に対し、専攻分野に	おける実務に関する研修を組織的	に行っていること。」関係	
			研修等」という。)の基本方針		
		ことについて諸規程に定めら	れていることを明記 5知識や、技術及び技能並びに授業	あが生徒に対する指道力などの修	: 24.
		〜 実施している。 、実施している。	の。現所及の技能型ので技术	:及い土佐に対する拍等力なとの形	² ीर्च -
(2)研修等の)実績				
		新に関する研修等 		- 146 A 316 A-	
研修名:		f生士教育協議会九州地 ·	也区会	車携企業等 :全国歯科衛生士教育協議会九州地区会	÷
期間:	令和6年9月		801	対象: 専任教員	
内容	全九州地区 協議する。	るの歯科衛生士養成所が	「参加し、実務にかかる最新の情報	や教育課程への取り組み方などを	
研修名:	歯科衛生士	:専任教員講習会 V	ij	重携企業等 :全国歯科衛生士教育協議会	
期間:	令和6年11.	月9•10日		対象∶専任教員	
内容	養成所にお る。	いて、実技教育を担当し	ている専任教員の指導能力を充実	とし、歯科衛生士の資質向上を図	
—————— 研修名:			i 0	 重携企業等∶	
期間:			0	対象: 0	
内容					
	修得・向上の	ための研修等			
研修名:	一般教職員	研修会	j	重携企業等 :沖縄県専修学校各種学校協会	È
期間:	令和6年5月	17日		対象: 学校運営者・管理者、一般教員	
内容	発達障がい	の理解と特性に応じた	関わり方について~全体対応から個	国別対応まで ~	
研修名:			0 j	重携企業等∶0	
期間:			0	対象: 0	
内容	0				
研修名:			0 j	 連携企業等∶	
期間:			0	対象: 0	

内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 全国歯科衛生士教育協議会九州地区会 連携企業等: 全国歯科衛生士教育協議会九州地区会

期間: 毎年9月頃 対象: 専任職員

内容
全九州地区の歯科衛生士養成所が参加し、実務にかかる最新の情報や教育課程への取り組み方などを

協議する。

研修名: インフェクションコントロールに基づく口腔衛生指導 連携企業等:SDA JAPAN

期間: 令和7年5月25日 対象: 歯科衛生士科専任職員

内容 インフェクションコントロール及びプラークコントロールについて

研修名: 0 連携企業等:

期間: 0 対象: 0

内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 一般教職員研修会 連携企業等:沖縄県専修学校各種学校協会

期間: 毎年5月頃 対象: 学校運営者·管理者、一般教員

内容 沖専各協会加盟校教職員の資質の向上を図る。

研修名: 学校運営者・管理者研修会 連携企業等: 沖縄県専修学校各種学校協会

期間: 12月頃 対象: 学校運営者·管理者、一般教員

内容 沖専各協会加盟校教職員の資質の向上を図る。

研修名: 0 連携企業等:

期間: 0 対象: 0

内容 0

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「職員研修に係る規定」で定めているように、本校は研修を種別にし、該当する教員に対し計画的に研修を実施している。 本科においては、歯科衛生士という職業に関連した実務に関する知識や、技術及び技能並びに、授業及び生徒に対する 指導力等の修得・向上のための研修を計画し、実施している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	校訓・教育方針・教育目標
(2)学校運営	指導方針
(3)教育活動	沿革
(4)学修成果	取得可能な資格、就職実績
(5)学生支援	奨学金制度(募集要項)
(6)教育環境	各学校紹介
(7)学生の受入れ募集	定員数
(8)財務	財務諸表
(9)法令等の遵守	公管庁報告
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学生一人ひとりが将来のビジョンを明確に描けるよう支援し、国家試験の合格率向上へとつながる更なる生徒の技術向上、知識習得する環境を充実させる。今年度は、学校行事や地域社会との交流を積極的に行い、学生生活の充実、さらには学修意欲、モチベーションの向上を図る。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
新垣 誠	医療法人誠愛会 理事長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	企業等委 員
東 哲世	オリオン歯科 院長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	企業等委 員 業界団体
石川 幸子	元沖縄県理容生活同業組合会長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	業界団体 <u>委員</u> 企業等委
豊村 英	社会福祉法人ニライカナイ 事務局長	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	企業等委 員
照屋 修二	沖縄税理士会	令和5年12月1日~令和7年11 月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.daiiku.ac.jp/about/

公表時期: 令和7年7月

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を組織的に行うためには、企業等の学校関係者との連携が必要である。したがって、学校 運営に関する取り組み、特に企業等が行った特別講義や各種コンクールの様子などは随時ホームページで公開しており、 学校関係やが閲覧できる体制を整えている。 (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校が設定する項目
(2)各学科等の教育	校訓・教育方針・教育目標
(3)教職員	指導方針
(4)キャリア教育・実践的職業教育	教職員
(5)様々な教育活動・教育環境	キャリア教育への取り組み
(6)学生の生活支援	学校紹介、海外研修
(7)学生納付金・修学支援	募集要項
(8)学校の財務	財務諸表
(9)学校評価	学校関係者評価、自己評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

広報誌等の刊行物 ・ その他()) (ホームページ)

URL: https://www.daiiku.ac.jp/about/

公表時期: 令和7年7月

授業科目等の概要

	#RE	F!														
		分類	Į						授	業	方法	場	所	教員		
	必修	択必	自由選択		授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外			企業等との連携
1	0			生物学	基礎科目「科学的思考の基盤」領域。 歯科衛生士業務の中での基礎分野の修得と、 生化学及び薬理学への展開の基礎とする。	1 前	30	2	0			0		0		
2	0			化学	基礎科目「科学的思考の基盤」領域。 歯科衛生士業務の中での基礎分野として、物質・熱力学・有機化学等を習得目標とする。	1 後	30	2	0			0		0		
3	0			心理学	基礎科目「人間と社会生活の理解」領域。臨床場面で役立つよう患者特有の心の動きやそれに対する心理学的応対の要点などを具体的に習得する。	1	30	2	0			0			0	
4	0			生命• 医療倫理学	患者から信頼される専門職として活躍するために、歯科衛生士の意義を十分に理解し倫理 判断に基づいた行動を理解する。	1 後	15	1	0			0		0		
5	0			社会学	在宅・施設での歯科医療サービスを提供する 医療チームの一員として倫理的判断に基づい て行動がとれるよう行動科学等を学ぶ。		15	1	0			0		0		
6	0			歯科英語 (英 会 話 含 む)	プロフェッショナルとしての歯科衛生士になるための英会話能力の習得、外国の歯科関係 文献の読解力を養う。	1 通	60	4	0			0			0	
7	0			解剖学	専門基礎科目「人体の構造と機能」領域。解 剖学の一人体の構造を理解し、口腔の構図の 概要、歯及び歯周組織の形態等について理解 する。	1	60	4	0		4	0		0		
8	0			組織・発生学 (口腔組織発 生学含む	専門基礎科目「人体の構造と機能」領域。解 剖学の一人体の構造を理解し、組織・発生学 の概要及び歯の発生、歯の組織について理解 する。	1	30	2	0			0			0	
9	0			口腔解剖学。 歯牙解剖学	専門基礎科目「人体の構造と機能」領域。 解剖学一人体の構造を理解し、組織・発生学 及び口腔解剖学について理解する。	1 後	30	2	0			0			0	
10	0			口腔解剖学。 歯牙解剖学	専門基礎科目「人体の構造と機能」領域。 解剖学一人体の構造を理解し、組織・発生学 及び口腔解剖学について理解する。	2 前	30	2	0			0			0	
11	0			生理学(口腔 生理学含む)	専門基礎科目「人体の構造と機能」領域。 生理学の概要及び歯・口腔の生理について理 解する。	1 前	30	2	0			0		0		

12	0	病理学(口腔 病理学含む)	専門基礎科目「疾病の成り立ちと回復の促進」領域。病理学の概要を学び、全身の病理 及び口腔病理について十分に理解する。	1 後	30	2	0		0		0
13	0	病理学(口腔 病理学含む)	専門基礎科目「疾病の成り立ちと回復の促進」領域。病理学の概要を学び、全身の病理 及び口腔病理について十分に理解する。	2 後	15	1	0		0		0
14	0	薬理学	専門基礎科目「疾病の成り立ちと回復の促進」領域。薬理学の概要を学び、口腔病理について十分に理解する。		30	2	0		0		0
15	0	薬理学	専門基礎科目「疾病の成り立ちと回復の促進」領域。薬理学の概要を学び、口腔病理に ついて十分に理解する。	2 後	15	1	0		0		0
16	0	微生物学(ロ 腔微生物学含 む)	専門基礎科目「疾病の成り立ちと回復の促進」領域。微生物の概要及び歯・口腔に常在する微生物について十分に理解する。	1 後	30	2	0		0	0	
17	0	微生物学(口 腔微生物学含 む)	専門基礎科目「疾病の成り立ちと回復の促進」領域。微生物の概要及び歯・口腔に常在する微生物について十分に理解する。	2 前	15	1	0		0	0	
18	0	口腔衛生学	「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」領域。 歯科における公衆衛生活動の実際についての 知識及び技能を習得する。	1	60	4	0		0	0	
19	0	保健情報統計学	歯科衛生活動に必要な保健医療情報の収集を データの分析と解析し、科学的アプローチが 習得する。		15	1	0		0	0	
20	0	衛生学 · 公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学の概要を学び、公衆衛生 活動の基礎的な知識について理解する。	1 後	30	2	0		0		0
21	0	衛生行政学・ 社会福祉概論	衛生行政・社会福祉の概要を理解し、歯科衛生士業務を適性に実施できるよう必要な法規について十分に理解を深める。		30	2	0		0	0	
22	0	歯科衛生士概論	歯科保健医療の概念を会得することともに歯 科衛生士としての心構えを持つことを目的と する。		30	2	0		0	0	
23	0	歯科臨床概論	専門科目「臨床歯科医学」領域。 歯科医療の概要を学び、診療補助の基礎とな る知識の習得を目的とする。	1 前	15	1	0		0		0
24	0	障害者歯科学	障がい者の特質を理解し、歯科治療時の対応、口腔管理について学ぶ。口 障害者への歯科的支援に対しての知識、技術 を習得する。	1	30	2	0		0	0	
25	0	小児歯科学	小児歯科学の発達段階と口腔の変化を理解 し、口腔衛生指導と食生活指導を学ぶ。	1前	30	2	0		0	0	
26	0	歯科放射線学	専門科目の「臨床歯科医学」の領域。 歯科医療におけるエックス線の果たす役割、 仕組み、管理等を学ぶ。	1 後	15	1	0		0	0	

27	0	歯科補綴学	歯科補綴学の概要を学び診療補助の能力を身 に着けることを目的とする。	· 2 前	30	2	0		0		0	
28	0	口腔外科学· 歯科麻酔学	口腔外科学の概要を学び、診療補助の能力の 習得を目的とする。	2 前	30	2	0		0		0	
29	0	矯正歯科学	歯科矯正学の概要を学び、診療補助の能力を 習得することを目的とする。	2 前	30	2	0		0		0	
30	0	歯内療法・保 存学	歯科保存修復学の概要を学び、その診療補助 の能力を習得することを目的とする。	1 後	30	2	0		0		0	
31	0	高齢者歯科	高齢者歯科の概要を学び、その歯科診療補助 の能力を得る。	2 後	30	2	0		0		0	
32	0	歯周病学	歯周病学の概要を学び、その口腔健康管理の 能力を得る	2 前	30	2	0		0		0	
33	0	歯科予防 処置(口腔保 健管理含む)	歯科予防処置について十分に理解し、その手 技を熟練していくとともに相互実習の訓練を 通じて、術者との共同動作を熟練することを 目的とする。	1	120	4		0	0	0		
34	0	歯科予防 処置(口腔保 健管理含む)	歯科予防処置について十分に理解し、その手技を熟練していくとともに相互実習の訓練を通じて、術者との共同動作を熟練することを 目的とする。	2	120	4		0	0	0		
35	0	歯科予防 処置(口腔保 健管理含む)	歯科予防処置について十分に理解し、その手技を熟練していくとともに相互実習の訓練を通じて、術者との共同動作を熟練することを 目的とする。	3	30	1		0	0	0		
36	0	栄養指導	専門科目「口腔保健学」領域。 栄養学の概要を学び、歯科保健指導及び歯科 衛生教育を適切に行うのに必要な栄養と食事 指導について理解する。		30	2	0		0	0		
37	0	歯科保健指導	専門科目「口腔保健学」領域。 歯科保健指導及び歯科衛生教育の基礎的技法 を習熟し、臨床及び公衆衛生活動に十分に対 応する能力を養う。		60	2		0	0	0		
38	0	歯科保健指導	専門科目「口腔保健学」領域。 歯科保健指導及び歯科衛生教育の基礎的技法 を習熟し、臨床及び公衆衛生活動に十分に対 応する能力を養う。		120	4		0	0	0		
39	0	歯科保健指導	専門科目「口腔保健学」領域。 歯科保健指導及び歯科衛生教育の基礎的技法 を習熟し、臨床及び公衆衛生活動に十分に対 応する能力を養う。	前	30	1		0	0	0		
40	0	歯科材料・歯 科機器	現場における歯科機器の具体的な形状・名称・用途を正しく理解し、事故防止を含めた取扱上の諸注意をわきまえ、加えて歯科医療従事者の常識としての歯科材料の知識の習得 を目指す。	1	30	2	0	Δ	0	0		
41	0	臨床検査法	医療業界における臨床検査の種類と方法について学習し、併せて疾病を伴う患者に対する ケアについて知識の習得を目指す。		30	2	0	Δ	0	0		

					T	ī	1									
42	0			感染予防学	専門科目の「歯科診療補助論」の領域。感染予防に関する知識を取得し、その基礎的実技を熟知し、臨床の場に十分対応できる能力を習得する。	1	15	1	0		Δ	0		0		
43	0			歯科診療補助	専門科目「口腔保健学」領域。 歯科診療補助に関する知識を習得し、その基 礎的実技を習熟、臨床の場に十分対応しうる 能力の習得を目指す。		120	4			0	0		0		
44	0			歯科診療補助	専門科目「口腔保健学」領域。 歯科診療補助に関する知識を習得し、その基礎的実技を習熟、臨床の場に十分対応しうる 能力の習得を目指す。		120	4			0	0		0		
45	0			歯科診療補助	専門科目「口腔保健学」領域。 歯科診療補助に関する知識を習得し、その基 礎的実技を習熟、臨床の場に十分対応しうる 能力の習得を目指す。		30	1			0	0		0		
46	0			摂食機能療法	専門科目の「歯科診療補助論」の領域。摂食嚥下リ ハビリテーションに関する知識を取得し、臨床の場 に十分対応できる能力を習得する。		30	2	0			0		0		
47	0			臨地· 臨床実習	歯科臨床・公衆衛生及び高齢者施設の現場において、円滑に業務を行う能力を身に着けることを目的とする。すべて校外実習とし、歯科医療機関及び高齢者施設において実習する。	1	45	1			0		0		0	\circ
48	0			臨地• 臨床実習	歯科臨床・公衆衛生及び高齢者施設の現場において、円滑に業務を行う能力を身に着けることを目的とする。すべて校外実習とし、歯科医療機関及び高齢者施設において実習する。	2	270	6			0		0		0	\bigcirc
49	0			臨地· 臨床実習	歯科臨床・公衆衛生及び高齢者施設の現場において、円滑に業務を行う能力を身に着けることを目的とする。すべて校外実習とし、歯科医療機関及び高齢者施設において実習する。	3	585	13			0		0		0	\bigcirc
50		0			パソコンを用いた情報処理手法について演習 を行う。	2 後	30	2		0		0		0		
51		0		コミュニケー ション概論	患者さん接するためのコミュニケーションを 学ぶ。	1 後	15	1	0			0		0		
52		0		歯科医療事務	保健診察における診療の明細書(レセプト) の作成から提出までの流れを学び、診療機関 での保険請求業務を行えることを目的とす る。		30	2	0			0		0		
53		0		看護概論	病院において歯科衛生士の役割を学ぶ。	1 前	15	1	0			0		0		
54		0		急蘇生法	隣接医学について歯科衛生士の役割を学ぶ。 救急蘇生法を身に付ける。	1後	30	2	0	Δ		0		0		
			合	<u></u>	42	科	目				124	単位	立(単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 所定の課程を修了した者に卒業を認める。	1 学年の学期区分	12 期
履修方法: 所定の課程に沿って履修を行う。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。